

教養教育科目

講義科目

基本/記述

授業科目名	私たちの生活と環境リスク	科目コード	配当年次	単位
担当教員	勝田 悟	GA32	1	2

科目の概要

高度に成長した現代社会は、私たちに快適な環境を生み出してきた。一方で大量の資源が消費され、その結果、地球上の物質的なバランスが崩れ自然環境に変化をもたらし、私たちの生活環境のリスクを高めている。
 本科目では、私たちが抱える生活環境に関するエネルギー問題や食の問題などの原因と結果、さらにそのリスクについて理解を深め、リスク低減のあり方について考察する。

科目の到達目標

- ①人の活動によって自然および生態系が破壊され人の生活事態に影響していることを理解し、その現象を分析できる。
- ②環境汚染・破壊の原因は、人の活動であり、その内容は、「もの」によるものと「サービス」によるものに分類されることを理解し、それぞれにどのような影響を与えているか説明できる。

テキスト

『私たちの住む地球の将来を考える 生活環境とリスク』勝田 悟, 産業能率大学出版部, 2015年

テキストの読み方

- ①人の活動を、エネルギーを中心とした「サービス」と物質的な豊かさの要因である「もの」に焦点をあて、これまでの経緯と現状に基づきこれからのあり方を考えている。
- ②「サービス」は、エネルギーを中心に考え、自然エネルギー、化石燃料、核エネルギー、および人の活動の源である食について取りあげている。「もの」は、身の回りにある物質に焦点を当て、その性質と生活環境に与える影響を取りあげている。
- ③生活環境に関連するリスクに注目し、まず身の回りに存在する環境リスクから議論し、現在広がりつつある環境リスクを減らすための生活を考える。

単位修得の方法

レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。